

ジュニア部門

(高校生の部)

応募歌数

四、六四〇首

選者賞 (川野里子 選)

デイズニーで家族の写真を撮るほどに後ろに見えるミッキーの嘲笑

梅本太千樹

(神奈川県立鎌倉高等学校)

選者賞 (宮里信輝 選)

日常でいつも疑問に思うことこの日常はなぜあるのだろう

岡部恵永

(新潟県立小出高等学校)

魚沼市長賞

ひとよ、ひとよに、ひとみごろ、ひとみを僕は君をずっと探している

中原美緒

(神奈川県立七里カ浜高等学校)

新潟日報社賞

妹に「大きくなったら何になる?」「トマト!」その夢叶うといいね

森山知香

(新潟県立小出高等学校)

宮校二記念館長賞・・・八首

雲が出て月が隠れてしまう前言わなきやダメだ「月が綺麗」と

小田幸人

(神奈川県立鎌倉高等学校)

学校で出会う親しい友達は何億分の一の奇跡だ

豊野蒼空

(新潟県立小出高等学校)

棺桶の祖母の頬は桃色で息をし始めた赤ちゃんのよう

山名陽葉

(神奈川県立鎌倉高等学校)

まだかなああまだかなあまだかなああまだかなああコロナワクチン

晒名哲郎

(長岡工業高等専門学校)

まぶしくて目を細めてもすきまから笑顔あふれてつられてしまう

高橋彩夏

(長岡工業高等専門学校)

るるやかに流ながれているよ最上川もがみがわやっぱり私わたしは信濃川しなのがわ推おし

大野まりも

(長岡工業高等専門学校)

整理券たたんでできた二羽の鶴バスの窓際寄り添っている

藤崎葉奈

(長岡工業高等専門学校)

暑いのに小さい子どもが遊んでる無限の体力どこからわくの

小幡優心

(新潟県立小出高等学校)

秀逸・・・二十九首

泳ぐ君へ「よいはい」と合図出すわたしの夏が今始まった

中村和琴

(神奈川県立鎌倉高等学校)

おじいちゃん可愛がってくれてありがとうとなりにいるよねお盆だもんね

坂巻齊紀

(新潟県立国際情報高等学校)

何色に染まればいいかわからない私を置いていく空の青さよ。

飯塚美友

(神奈川県立鎌倉高等学校)

暇だなど外を見ているも田んぼだけいつ分かるかなこの美しさ

中島沙耶

(新潟県立小出高等学校)

手を汚し砂水セメントほうりこみコンクリづかれの箕浦優仁

箕浦優仁

(長岡工業高等専門学校)

「ザ・田舎」早く出たいと思つてた良さに気づいた高三の夏

佐藤遥菜

(新潟県立小出高等学校)

夜勤明け母がうたた寝する時は米研ぐ水も静かに流がす

加藤遥

(東京学館新潟高等学校)

田植え機に乗ってる父と見守る母夕焼け空の広がる下で

関日和

(新潟県立小出高等学校)

いつか見たゆれるカタクリとまる蝶僕たちだけの小さな秘密

内田 花

(長岡工業高等専門学校)

ふりかえりふと見たときの紅葉は私みたいなできそこないだ。

渡部蒼司

(長岡工業高等専門学校)

青空に浮かぶ君の顔忘れない僕の心はマリーゴールド

齋藤 快

(長岡工業高等専門学校)

空を見て初めて見つけたオリオン座つかれがいつしゅんとれた気がした

渡辺歩生

(長岡工業高等専門学校)

いつかまた会えたら再び呼べますか左手のこれ仲間の印

徳嵩友志

(長岡工業高等専門学校)

「がんばって」言っていいのかわからないすでにその子は頑張っている

岡 凜々子

(神奈川県立鎌倉高等学校)

声援の中で構えて息をのむレンズ越しの君輝いている

角家乃愛

(新潟県立小出高等学校)

好きな人いないと君は言うけれど意識しちゃうよ耳あかいもん

佐野 凜

(新潟県立小出高等学校)

夜の橋ドカンと一発打ち上げた花火とともに恋に落ちる

長 拓海

(新潟県立堀之内高等学校)

水へいに進まなければBCN OFNEエネルギー源エナジードリンク

矢嶋爽生

(長岡工業高等専門学校)

目が合ってニコツとされて目をそらすそらしたことを後悔してる

風間 蘭

(新潟県立小出高等学校)

部活後の窓からみえたデカイ虹疲れふきとぶ大きな輪っか

小林さくら

(新潟県立小出高等学校)

放課後に恋って言うから愛に來た教室で待つあなたのもとに

外谷林太郎

(新潟県立小出高等学校)

背伸びして届かなかった身長も今では見える母の白い髪

乾 朱里

(新潟県立小出高等学校)

この子らは何を楽しみに生きたのか地面でもがくセミを見てふと

坂巻齊紀

(新潟県立国際情報高等学校)

青春をすべてコロナにもってかれひと夏の恋実らず終わる

水澤帆南

(新潟県立小出高等学校)

「あれだって、あーなんだっけな、それよそれ」何が言いたい僕のばあちゃん

小沼 颯

(新潟県立小出高等学校)

偶然が積み重なって巡り合い止まない笑い一生のダチ

北村はな

(新潟県立小出高等学校)

暑い日に溶けるアイスを食べながら解く難題が解けるぞ解けた

上村与人

(新潟県立小出高等学校)

帰省して眠りにつく前母は言う頑張りすぎず頑張りなさい

木竜花夏

(長岡工業高等専門学校)

帰宅後に伝えた言葉は「だめだった」母の顔には笑顔と涙

中島岬輝

(新潟県立小出高等学校)

佳 作 ・ ・ ・ 三十七首

ビル街の濁った空を飛行機が居場所求めて彷徨さまよっている

石川胡桃

(慶應義塾湘南藤沢高等部)

制すれど留めておけぬ恋心いかり錨いかりを上げる君への航海

兒玉 烈

(早稲田大学高等学院)

三号車九時三分に君が乗る誰も知らない私の秘密

檜原主朋

(早稲田大学高等学院)

トンネルを友とバイクで走り抜け青一色の海が広がる

星野恭亮

(新潟県立小出高等学校)

たくさんの勇気と希望をありがとうさよなら全てのエヴァンゲリオン

山口ひより

(長岡工業高等専門学校)

教室であなたに話すタイミングうかがっている私ここです

茨木彩友美

(長岡工業高等専門学校)

ありがとう言おうとすると顔赤く口をパク。パク金魚になる

中澤美釉

(新潟県立国際情報高等学校)

死ねという言葉が嫌い弟が生まれるところを見てからずっと

梶中芽衣

(神奈川県立鎌倉高等学校)

大胸筋腹筋背筋三角筋三頭筋の泣き声いいかも

五十嵐 禅

(新潟県立長岡向陵高等学校)

いままちがえた友のシャツ着てみると何かが違ううだろう

熊谷胡春

(神奈川県立鎌倉高等学校)

口下手なあなたがくれた優しさは綺麗なほうのホットケーキ

三村紗愛

(神奈川県立鎌倉高等学校)

花曇り良い天気だねと言う君の心の底に積もる花びら

角田柁樹

(神奈川県立鎌倉高等学校)

江ノ電に揺られ微睡む夏の朝煌めく海を置き去りにして

宮本花音

(神奈川県立鎌倉高等学校)

うつせえわそんなあなたに恋をした君のイメージキンモクセイヨ。

本橋倫太郎

(神奈川県立七里ガ浜高等学校)

カラコンシチュワツとはじけるラムネの音わたしの心はきこえませんように

上垣佑衣

(神奈川県立七里ガ浜高等学校)

祭りの日思の出デートドキドキし花火がきれいと僕にうそをつく

佐々木日菜子

(神奈川県立七里ガ浜高等学校)

横にいる君の横顔花火より儂く綺麗見惚れてしまう

大隅蓮天

(神奈川県立七里ガ浜高等学校)

助手席で今日の涙を流す時海岸通りの道選ぶ母

加藤 遥

(東京学館新潟高等学校)

母親に日頃の感謝「ありがとう」その一言が今日もいえずに

山崎佳祐

(新潟県立小出高等学校)

朝四時にいつも起きてるお母さん私にとってのスーパーヒーロー

矢島綾夏

(新潟県立国際情報高等学校)

雨あがり水のしたたる木の幹にセミの抜け殻夏のはじまり

佐藤一花

(新潟県立小出高等学校)

仲間との最後のリレー残ったのは賞状じゃなく色あせたバトン

笠井優妃

(新潟県立小出高等学校)

お母さん晴れ雨曇り休みなく毎日早起き愛情弁当

佐野 凜

(新潟県立小出高等学校)

おばあちゃんアルバムの祖父を見ていると「このイケメンは誰だっけかなあ」

星 大地

(新潟県立小出高等学校)

暑い日もキツイ時でもあきらめない友がいるからガンバレルーヤ

本田健斗

(新潟県立小出高等学校)

どこまでも紙飛行機は飛んでいく私のおもいは一方通行

山崎 纏

(新潟県立小出高等学校)

週一度気になるあの娘と帰る道いつも聞くのは彼氏の話

勝又 悠

(新潟県立小出高等学校)

雪どけの水で育ったコシヒカリ白く輝くわが家のご馳走^{こっつお}

バドミントン二点差で負け立ちつくす顔から流れる汗と涙が

草かおる魚野川沿いの通学路いつも「おはよう」と声かけられる

試合着とグローブをつめて家出ると母から電話「弁当わすれたね」

待ちわびる卒業を前に振り返る大人にはまだなりたくないなあ

疲れたら壊れるまえに旅に出よう人にも物にも休息が要る

制服を着る毎日もあと少し女子高生の鎧を卒業

好き超えて大好き超えて愛おしいうちの愛犬大事な家族

二年前家族と行った初ライブ肌で感じた本物の音

せみの音^ねに負けじと遊ぶ子らの声分けてほしいな元気なパワー

佐藤朱莉
(新潟県立小出高等学校)

星野翔真
(新潟県立小出高等学校)

星野翔真
(新潟県立小出高等学校)

星野光矢
(新潟県立小出高等学校)

星野美玲
(新潟県立小出高等学校)

山田唯武騎
(新潟県立小出高等学校)

松田依麻
(新潟県立小出高等学校)

池田真菜
(新潟県立小出高等学校)

小幡優希
(新潟県立小出高等学校)

馬場彩佳
(新潟県立小出高等学校)